

滋賀大学経済学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1-1 滋賀大学経済学部後援会 発行責任者／岩田守弘

目次

後援会会長・学部長等挨拶	1	就職活動と支援	10
卒業式・送辞	2	就職状況	12
入学式・歓迎の辞	3	進学先・就職先一覧	13
入学状況・大学紹介	4	平成23年度決算・後援会総会	15
学生活動だより	7	平成24年度予算・役員名簿	16
国際交流・交換留学	8		

会長挨拶

後援会会長 岩田守弘



岩田後援会会長

昨年「絆」の一字に家族の繋がりの大切を改めて、そして強く教えられました。保護者の皆さまには「もう一人前だから」と遠慮されることなく、お子様方と折にふれ、機会ある度にコンタクト、コミュニケーションをとり、絆を強めていただき、無事でそして悔いのない4年間の学生生活となるように、背後からしっかりと支えてくださる様よろしくお願ひしたいと存じます。

学部長挨拶

経済学部長 梅澤直樹

今年度より学部長に就任しましたが、本学部に奉職してちょうど30年、あらためて責任の重さを痛感しています。国家財政の厳しさは本学部の教育にも大きな影響を及ぼし、学生たちがしっかりとキャリア・デザイン(人生設計)を描けるように、またそれを実現できるように多様なかたちで支援しようとした先端的プロジェクトの事業費がカットされるなど多難な時代ですが、大学全体での支援を得てプロジェクトを継続するなど、大切なお子様たちをお預かりした責任を全うする所存です。後援会の皆様には日頃の

多大なご支援を心より感謝するとともに、今後とも温かいご支援をお願い申し上げます。

副学部長挨拶

総務・企画担当 武永淳

昨年は学務委員長を担当いたしました。本年は総務・企画担当として留任することとなりました。学部長からは、留年問題の改善とこの間経済学部がすすめて参りました「就業力育成支援事業」をはじめとする各事業の発展・継承に取り組みむように指示されております。私には少し荷の重い任務ではありますが、昨年の経験を活かすことができるとも前進させることができると考えております。後援会の皆様方のご支援とご理解、よろしくお願ひ申し上げます。

学務・学生生活担当 鈴木康夫

学部学生の学業及び教務と学生生活に関する指導や運営等の諸事項を担当致します。前年度と異なり、3年次への進級留年は再び増加しています。留年者を減少させる取り組みを継続し、かつ一層の効果的な改善に努めて行きます。また、初年次教育のスムーズなスタートの支援と、来年度の実効的なカリキュラム実施の準備を進める次第です。今後とも後援会の皆様方のご支援とご理解をお願い申し上げます。

入試・広報担当 阿部安成

入試・広報を担当いたします。本学部はこのところの入試においては、充足率107%余りを保持しています。

わたしの仕事は、大学のいわば入り口の守備を整え、かつ監督する業務であるとともに、大学の事務効率化がもたらされる現在、業務の見直しとスリム化をはかるものとなると考えております。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

副研究科長挨拶 弘中史子

経済学研究科は特色ある大学院です。前期課程は経済学、経営学、グローバル・ファイナンスの3専攻があり、日本有数のシンクタンクである野村総合研究所との連携大学院もあります。後期課程は、社会科学分野で「リスク」を研究対象とする国内最初の大学院として設置されました。学部生のみならず大学院の講義を受講できる制度もありますので、ぜひ学究の場を体験してみてください。



阿部副学部長 武永副学部長 鈴木副学部長 梅澤学部長 弘中副研究科長

平成23年度卒業式

3月26日(月)午後1時から、大津市のびわ湖ホールにおいて、平成23年度滋賀大学卒業証書・学位記・修了証書授与式が挙行され、教育学部251名、経済学部544名、大学院経済学研究科61名、大学院経済学研究科51名(うち博士後期課程修了1名)、特別支援教育専攻科10名の計917名が、学び舎を後に実社会等に巣立ちました。

佐和学長より各学部等代表者への卒業証書等が授与され、社会人となる卒業生に「昨年の東日本大震災と大津波による原発事故によって



告辞を述べる佐和学長

価値観の大転換が迫られていることを念頭に置き、教員・企業・公務員への就職など、それぞれの進路での心得と「もったいない」を環境の世紀と言われる21世紀を象徴する標語として掲げ、琵琶湖という素晴らしい地球資源に恵まれた「滋賀の都」で学生生活を過ごした皆さんは、これからの場で、ゴミの減少(Reduce)、再利用(Reuse)、再資源化(Recycle)の3Rに、かけがえのない地球資源への尊敬の念(Care)を加えた「4つのR」を心掛けてほしい」と、はなむけの言葉が贈られました。その後、在学生を代表し経済学部3回生の中村美貴子さんから素晴らしい門出を迎えられた先輩へのお祝いと感謝の言葉、卒業生を代表し教育学部の谷脇浩紀さんから厳しい社会での活躍の決意と教職員、在学生への感謝の言葉が述べられました。

引き続き学業成績優秀者学長賞表彰が行われ、在学中に最も優れた学業成績を修めた教育学部卒業生の星山沙紀さんと経済学部卒業生の鈴木彰啓さんに表彰状と記念品が贈られ、その努力と成果が称えられました。

送辞

本日、平成23年度滋賀大学卒業証書授与式にあたり、在校生を代表しお祝いと感謝の言葉を述べさせて



送辞を述べる在校生代表

いただきます。

湖国の冬も終わり、辺り一面春の光に包まれつつあるこの良き日に、それぞれの課程を修了され、今日この日を迎えられることを心からお慶び申し上げます。

皆様が大学生活の夢と希望を胸に滋賀大学の門をくぐられてから、数年の年月が経ちました。長いようで短い学生生活は、皆様にとってどのようなものであったでしょうか。勉学に勤しみ、部活動、サークル活動などの課外活動に打ち込まれるなど日々充実した学生生活を送られたことと思います。それぞれの形は違えど、様々な活動を通して得られた知識と経験は、卒業してもなおかけがえのない財産として、皆様の心に深く残ると思います。また大学生活を通して出会い、日々共に過ご

してきた仲間とは、生涯の良き友人として、時には支え、時には激励し、今後も共に高め合っていけることでしょう。

本日をもって、皆様は滋賀大学を卒業され、様々なフィールドへと活躍の場を移されます。世界は刻々と変化し混迷を極め、昨今の日本を取り巻く状況は必ずしも明るいものばかりではありません。しかし、このような困難な状況を打破するためにも、滋賀大学の力が必要であり、その真価が問われています。皆様は滋賀大学という伝統ある気風の中で培われた、自信や誇りとともに、より幅広い分野で社会をご先導ください。

私たちが在校生一同も皆様のご活躍に負けぬよう日々精進を重ね、皆様がこれまでに築きあげられた滋賀大学の伝統と精神を受け継ぎ、更なる発展に寄与することをお約束します。公私ともに私たち後輩を温かく見守ってください。また先輩として導き、ご指導くださったことを、在校生一同、心よりお礼申し上げます。

結びにあたり、卒業生の皆様のお祈りです。ご活躍とご健勝をお祈りして、送辞とさせていただきます。ありがとうございます。

平成24年3月26日

在校生代表

経済学部 3回生 中村美貴子

平成24年度入学式



告辞を述べる佐和学長

4月6日(金)彦根市の「ひこね市文化プラザ」において、平成24年度滋賀大学入学式が挙行され、教育学部256名、経済学部614名、大学院教育学研究科49名、大学院経済学研究科44名(うち博士後期課程4名)、特別支援教育専攻科16名の総計979名が、学生生活の新しいスタートを切りました。

式典では、学歌斉唱の後、入学生を代表し教育学部坪内真優さんが宣誓を行い、「学則を守り、学生の本分を尽くすこと」を誓いました。引き続き佐和学長から「理解す



学生自主企画プロジェクトの紹介

る”力を身につけ深い教養を備えた人材に育つてくれることを願う」と告辞がありました。

続いて、来賓を代表して教育学部同窓会板坂修会長から祝辞があり、その後在学学生を代表して経済学部4回生の尾谷文也さんから歓迎の言葉が述べられ、入学を祝しました。

式典終了後新入生オリエンテーション「キャンパスライフ・イン・滋賀大学」が開催され高島依子さんによるソプラノ独唱、在学生が取り組んでいる学生自主企画プロジェクトの紹介があり、入学生は、これから始まる大学生活に期待に胸を膨らませていました。

歓迎の辞

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。またこの入学式にご臨席くださいましたご家族の皆様にも、心からお祝いと御礼申し上げます。



歓迎の辞を述べる在校生代表

も、心からお祝いと御礼申し上げます。

滋賀大学は日本最古で最大の湖である琵琶湖の湖東・彦根にある経済学部と湖南・石山にある教育学部の2つの学部から成り立っています。いずれのキャンパスも雄大な琵琶湖のほとりにあり、大変美しい環境にあります。このような恵まれた環境の中で学業や課外活動に励むことによって、深い見識と豊かな人間性を持った社会人になってほしいと願っています。

さて、大学生として新たなスタートを切る皆さんですが、今、どのような気持ちで入学式に臨んでおられるでしょうか。もしかししたら、私のお話よりも来週から始まる講義の事やクラブ・サークル活動、アルバ

イト、もしくは素敵な同回生はいるかなあ、とウキウキした気持ちでいらつしやることでしょう。そんな皆さんに、私から言葉をプレゼントしたいと思います。それは、「出会いを大切に」ということです。新入生の皆さんがこのメンバーで滋賀大学に入学したことも、私が皆さんの前でお話しさせていただいていることも、全てが出会いです。そして、これから大学生活で出会う全ての人・モノ・場所とのたくさんのお出合いがあると思います。その中には、皆さんの人生を一変させるような大きな出合いがあるかもしれません。また、時に辛く、厳しい状況に遭遇することもあるでしょう。けれど、どんな出合いにも必ず意味があり、全てが自分自身を大きく成長させてくれる素晴らしい出会いです。ですから、これから積極的に出会いを求めてほしいと願っています。

入学式が終わり、会場の外に出たら、多くの先輩がみなさんを待ち構えていることでしょう。学生生活最初の出会いです。一期一会を大切に、良き伝統、良き精神を良い形で受け継ぎ、一人ひとりのカラーを存分に発揮し、新しい滋賀大学を、私たちと作っていきましょう。皆さんの活躍を期待しています。

平成24年4月6日
在校生代表
経済学部 4回生 尾谷文也

平成24年度 入学状況

入学試験状況（経済学部・大学院経済学研究科）

		定員	志願者	受験者	合格者	入学者
経済学部	昼間主	500	3,239	1,979	687	539
	夜間主	50	104	83	62	52
	3年次編入	20	73	63	28	22
	計	570	3,416	2,125	777	613

大学院	前期課程	52	70	64	40	40
	後期課程	6	12	12	4	4
	計	58	82	76	44	44

滋賀大学入学者一覧

経済学部	614	
大学院 経済学研究科	前期課程	40
	後期課程	4
教育学部	256	
大学院教育学研究科	49	
特別支援教育専攻科	16	
入学者合計	979	

※国費外国人留学生1名を含む。

都道府県別入学者数（経済学部）

岩手県	2	0.3%	長野県	3	0.5%	奈良県	13	2.2%	福岡県	3	0.5%
茨城県	1	0.2%	岐阜県	70	11.8%	和歌山県	7	1.2%	佐賀県	1	0.2%
群馬県	1	0.2%	静岡県	11	1.9%	鳥取県	7	1.2%	長崎県	6	1.0%
東京都	1	0.2%	愛知県	83	14.0%	島根県	6	1.0%	熊本県	1	0.2%
神奈川県	1	0.2%	三重県	16	2.7%	岡山県	8	1.4%	宮崎県	2	0.3%
新潟県	1	0.2%	滋賀県	115	19.5%	広島県	2	0.3%	鹿児島県	2	0.3%
富山県	4	0.6%	京都府	96	16.2%	山口県	1	0.2%	沖縄県	1	0.2%
石川県	4	0.6%	大阪府	57	9.7%	香川県	1	0.2%	高専3年修了等	1	0.2%
福井県	6	1.0%	兵庫県	45	7.6%	高知県	3	0.5%	私費外国人留学生	9	1.5%

大学紹介

事業の取り組みの紹介

☆就業力育成支援事業

就業力育成プログラムで初年次から徹底指導

●知識・技術・体験を身につけたバイタリテイのある人材を育成

経済学部では、平成22年度に始まった文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」の補助終了後も、大学の独自の予算で就業力育成支援事業を積極的に展開しています。その中核である就業力育成支援室では、専任スタッフが常駐し、学生のキャリア相談への対応、キャリアデザイン論等の講義の他に、主体性、実行力、課題発見力などの社会人に求められる力を強化する多くのプログラムを独自に開発し実施しています。

就業力の育成は、単に就職すること・働くことへの意識づけやキャリア形成の支援にとどまらず、バイタリテイのある学生・骨太な学生の育成を目指し、「どんな困難な状況でも生き抜ける力」を学生が身につけることをねらいとしています。経済学部の専門知識や理論を構築する土台として、特に大学の初年次からこれらの能力の育成・強化を目指す

ものです。

これまでの取り組みでは、大学生が講義を通じて学んだ理論や専門知識を実社会と関連づけられるよう、実際に働く現場を訪問する「企業訪問」や「企業人による講義」を充実してきました。

さらに、グローバルな視点を取り入れた海外の日本企業や企業人から学ぶプロジェクトとして、日本大手企業のシンガポール支社を訪れ、グローバルリーダーとして活躍する企業人たちから話を聞きました。また、社会の多様な働き方に接して自らのキャリア形成に活かされることを期待し、被災地支援活動にも積極的に取り組んでいます。

就業力育成支援の取り組みが、意



海外企業研究プロジェクト(シンガポール・スタディツアー)

力の向上をねらいとしています。
 エクトでは受講者自らが課題に沿

●多様な価値観に触れる現場体験型プロジェクト

欲の高い学生にとどまらず、学びへのモチベーションが向上途上である学生にも、何かの「きっかけ」となることを期待しています。

平成24年度では、次の重点項目を中心に事業展開を行います。



海外企業研究プロジェクト(シンガポール・スティーアール)



映像プロジェクトの実習を行う学生

って10分程度の映像を制作。それぞれの作品を、各自が見る側と見られる側双方の視点に立って評価し、主観と客観という複眼性を体得することを目指すものです。

働き方の多様性を知ることを目的にした働き方探求プロジェクトでは、NPO法人の学童保育活動を通じて社会的課題に触れ、公共政策

映像を使って自分の中にある世界を表現してみませんか？それはあるは作品と呼べるようなものでもなく、また「目」で見てわかるものでもなく、ただ一人で考えごとしているときに心に浮かんだイメージを表現していることで気づいた世界が見えてくるかも、それはイメージを表現しようというアクションを起こした人にかかるといってもいいかもしれません。学生時代に何かおもしろい、けど何をやったらいいかわからない、そんなあなたにおすすめるプロジェクトです。映像制作に必要なカメラはもちろん、映像編集用のソフトもあつた。環境も最大限にそろって「映像制作を体験」してみませんか？

滋賀大学経済学部 映像表現入門2012春 火曜3限 4月17日より開講

働き方探求プロジェクト2012春

「放送業界に学ぶ」

履修者募集

申込締切 4月12日(木) 午後5時

申込先: 経済学部 後援会事務局

〒525-8585 滋賀県彦根市彦根1-1-1 滋賀大学経済学部後援会事務局

TEL: 0749-22-1111 (内線) 2157 (受付)

FAX: 0749-22-1111 (内線) 2158

E-mail: fukugan@hwakokusha.ac.jp

プロジェクト科目 募集中!!

ボランティア・NPO、教育に関心のある人

NPO法人の「子育て支援で学ぶ」

5月23日～7月18日 毎週水曜日 10:00～12:00

夏期休業中(8月6日～9月上旬)に実習を行う。

申込先: 経済学部後援会事務局

TEL: 0749-22-1111 (内線) 2157

FAX: 0749-22-1111 (内線) 2158

E-mail: fukugan@hwakokusha.ac.jp

同「NPO法人子育て支援で学ぶ」の募集

●社会人基礎力を育成するプロジェクト

や行政の在り方、教育ビジネス等の視点を得るとともに、NPO法人で働く意義も学びます。また、地域コミュニティFM放送での番組制作プロジェクトではマスメディアと公共性や社会的利益とビジネスのあり方を学びます。



プロジェクトの実習を行う学生

これらの力を総合的に伸ばす取り組みとして「即興表現力」や「企画実現力」を身につけることを目的としたプロジェクト科目を実施します。



即興（インプロ）表現を行う学生

●複眼的模擬面接プロジェクト
 大学生が求人側と求職側に分かれて模擬面接を行うプロジェクト科目です。求人側の学生が学生という立場を離れ採用人事を構想してみることや、求職側の学生が面接の映像記録によるフィードバックで複眼的かつ客観的な評価を行うことによる教育効果を期待すると



社会人基礎力養成プロジェクト

もに、経済学部としての経済、経営、法律などの知識を最大限活用し、実学的で実践的な教育プログラムになるよう企画しています。
 平成23年度は「日本生命」、「シャープ」、「オリエンタルランド」の3社を想定して実施、今年度も秋学期に開講予定です。

●企業訪問で、就業に向けての指針や方向性を体得

企業訪問は学生にとってはビジネスの現場を自分の目で確かめることができる好機です。企業訪問の前後で、参加者の意識は大きく変化し、働く人々を目の当たりにすることで現実味が増し、自己課題や方向性をつかむことができたという好評を得ています。

平成23年度には「大阪ガス」、「関西電力」、「シマノ、自転車博物館」、「日本テレビ・共同通信」などを訪問しました。

今年度も経済学部の同窓会である「陵水会」や県内外の経済団体ネットワークの協力を得て、就業力育成のための企業訪問を実施予定です。

●「就業力育成支援室」でチャンスをつかむ

これらのプログラムの中核「就業力育成支援室」には、滋賀大学の図書館とは別に、教員おススメの図書

コーナーが充実しています。企業経営やソーシャルビジネス、リーダーシップやボランティアに関する図書、さらに、詩集や絵本、NHKの人気番組「プロフェッショナル」シリーズのDVDまで完備しています。

また大学生が学外でも幅広い体験活動ができるよう、専任スタッフと地域を結ぶパイプ役として、地元でのボランティアやNPO活動など、ほかでは得られないイベント等の情報を集め、「就業力メールマガジン」の発行やソーシャルネットワークを活用した情報発信に取り組んでいます。

実際に、彦根市の「ひこね井」事業には3名の学生が関わり、映像プロジェクトで培った技術を披露。「3・11」つ

ながるう東北へのイベントでは、滋賀エコプロジェクトの学生を中心に企画や運営に関わりました。

このように就業力育成支援室には、多様な人との出会いや大学での学びを活かすチャンスがたくさんあります。積極的に活用されることを期待しています。



模擬面接を行う学生



就業力育成支援室

学生生活活動だより

☆2011びわ湖大学駅伝に
初陣を飾り、健闘！



号砲一発スタート

経済学部と教育学部の両学部の陸上競技部員からなる本学駅伝チームが、昨年10月1日、本戦への出場権をかけた予選会で、18チーム中6位に入り、本戦に出場しました。11月19日、琵琶湖の西岸を縦走する「2011びわ湖大学駅伝兼第73回関西学生対校駅伝競走大会」に念願の初出場を果たし、招待校を含む21チームが出場して争われ、総合で18位、関西学生対抗で16位と大健闘しました。



6区中継所

本大会は、昭和12年に始まった関西学生対抗駅伝競走大会を「東の箱根」に対して「西のびわ湖」と呼ばれる大会を目指し、2005年にコースを京都・丹後半島から湖西路に移して始まったもので、東海、中・四国、九州の計6大学が招待校として加わり、まさに学生駅伝西日本一を決定する大会として開催されています。

当日は、叩きつける激しい雨で視界も霞むほどの悪天候でしたが、花の1区を小西雄大君（経済学部3回生）が



力走するアンカー



エースの走り

区間13位という激走を見せた他、各大学のエース級選手が走る最長15.1kmの7区を中島弘貴君（経済学部4回生）が区間15位で襷をつなぐなど活躍し、4時間34分18秒でゴールし、応援団や沿道からの熱い声援を受けました。今後ともOBや県民の皆様はじめ大学の皆様のご期待に沿うべく、常連校になれるよう精進し頑張っていきますので、声援お願いします。

☆ウインドサーフィン部員が
ナショナルチームに選ばれた！

経済学部ウインドサーフィン部の吉田愛さん（経済学部4回生）が、3月6日から8日に開催された「2012年日本学生ボードセイリング連盟ナショナルチーム選考会」において、見事、レディーズ部門上位2位に入賞し、2012年度ナショナルチームのメンバーとして認定されました。



湖面を疾走

日本学生ボードセイリング連盟ナショナルチームへのレディーズ部門への所属は、本学ウインドサーフィン部創立以来の、初の快挙であります。決定の知らせを受け、部員はもとより友人一同が歓喜に包まれ、吉田さんへの拍手喝采と祝福の歓声で溢れました。今後、吉田さんは学連ナショナルチームのメンバーとして、全国大会や世界大会にも出場する予定です。吉田さんの今後の益々の活躍に期待しています。

☆滋賀大学株式投資研究会
日経ストックリーグで入選

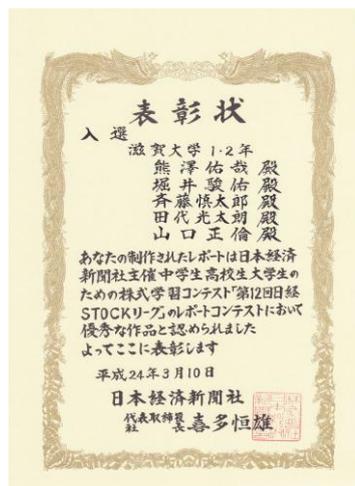
経済学部の文化サークル「株式投資研究会」は、日経ストックリーグで、2011年の第12回大会において、全国1,420チームが参加する中、大学部門において、メンバー2チームが、5位入賞という快挙を果たしました。

日経ストックリーグとは、日本経済新聞社が主催し、中学生、高校生、大学生を対象にした「自主テーマによるポートフォリオ学習」及び「レポートコンテスト」で、各自の投資テーマに沿った論文作成およびポートフォリオづくりなどを通じて、生きた経済に触れ、自ら考え、学んでいく力を身につけることを目的として、株式投資における投資銘柄の選択に関する論文の優秀さを競



喜びの受賞メンバー

う大会です。
株式会社投資研究会は、2005年に
結成されたサークルで、「株式」と
いう学問を通して、経済を包括的に
研究することを目的とするサークル
です。
これまでの日経ストックリーグ
での実績は、2006年は、大学部
門参加チーム763チーム中、ベス
ト17で「入選」、2009年には



今年も4月21日(土)に開学祭(今
年の愛称は「活力祭」でした!)が、
彦根キャンパスで開催されました。
当日は、皆の願いが叶ったのか、
前日の雨も上がり、晴天とまではい
きませんでしたが学生、大学近辺の
方々が多数来場していただき、賑や
か楽しい1日を過ごすことができました。

☆「開学祭(活力祭)
盛大に開催される！」

今回、入選の荣誉に輝いたのは
1・2回生の学生各5名で構成され
る2つのチームで、参加した両チー
ムともに入選を果たすのは「株式投
資研究会」発足以来初めてです。



多くの模擬店

ステージ企画、模擬店、教室展示
など、それぞれに思い思いの趣向が
凝らされ、好評を博していました。
また、毎回お馴染みのフリーマー
ケットでは、大学近辺の方々も多数
出店され、来場され方々や学生も一
緒になって、品定めや値切り交渉が
繰り広げられていました。
開学祭は、滋賀大学の開学を祝っ
て毎年開催していますが、新入生の
皆さんが少しでも早く大学生活に
慣れていただくよう、ちよつと肩の
力を抜いてもらえたらという切な
い願いも秘めています(活力がみな
ぎったでしょうか)。今後も、盛
沢山の企画をして、開催したいと思
います。

留学中は、できる限り自分の偏見
を捨てて物事を客観視する力を養
うこと、疑問に思ったことは直ぐに
自ら調査、思考し、自分なりの答え
を導くことという2点を心掛けて
いました。この留学で今までは気付
かなかった日本の光と影について
知ることもでき、自国への関心も一
層深いものとなりました。
留学中の印象に残った出来事は、
3月11日の東北地方太平洋沖地震
です。オーストラリアの自宅であ
まり暫く身動きが取れず、その後も
テレビなどで津波の映像を見る度
に恐怖感で、数日間は何もする気が

私は2011年2月から12月に
かけて、本学の交換留学制度でオ
ーストラリアのディーキン大学へ留
学しました。留学を決意した理由は、
語学力の習得、異文化交流、学生の
時に様々な経験をしようとの思い
からでした。
ディーキン大学では、以前から学
びたかった心理学を専攻し、他にも
興味のある授業に出席して日本で
は学ぶことのできない分野にも手
を伸ばすことができました。
留学中は、できる限り自分の偏見
を捨てて物事を客観視する力を養
うこと、疑問に思ったことは直ぐに
自ら調査、思考し、自分なりの答え
を導くことという2点を心掛けて
いました。この留学で今までは気付
かなかった日本の光と影について
知ることもでき、自国への関心も一
層深いものとなりました。

企業経営学科 小西玲加
《留学体験記》
東洋大学国際交流部





せず自宅に引きこもってしまいました。自国の人達が辛い思いをして居る時に、自分は何もできないということに對する遣る瀬無さに悲しくなるばかりでした。そんな時、私を励まし支えてくれる沢山の友人の存在に気付き、日本が世界中から愛される素晴らしい国であることを教えられ、今自分にできる精一杯のことをしようと思ふようになりました。その時は日本人の友達は一人もいませんでしたが、募金活動の参加者を集めるために日本人学生に声を掛けると、他にも同じような考えでいた多くの学生に出会うことができ、1ヵ月程で多くの募金が集まり、日本に送ることができたのです。多くの人達がまるで母国のこと

のように私達を励まし続けてくれました。帰国した今でも感謝の気持ちで胸が熱くなります。

今回の留学で沢山の経験をし、私の人生がより豊かになったことは言うまでもありません。短い滞在期間ではあったものの本当に沢山のことを感じ、学び、得ることができました。また何よりも、人生と共に歩んでゆける友人に出会えたこと、それこそが最大の喜びです。

私の小さくて大きな街 グアナファトから

企業経営学科 奥田真央

グアナファトはとても楽しい街で、建築物は美しく、小さなヨーロッパのような印象です。家々はカラフルに塗られていることで有名ですが、同様に街行く人もピンクやスカイブルーの服を着ている人が多くて、なんて明るい街だろう！と感じました。

学校が始まると、しばらくは苦痛の日々が続きました。メキシコに留学されていた先輩からのアドバイスを受けていたのですが、私と先輩のスペイン語はなかなかのものだったので、現地人のスペイン語が速すぎて聞き取れないというのがあります。授業にまったくついていけず、特に文学の授業や会話の授業は自分の語学力の無さから、冷や汗ものでした。



クラスメイトは、アメリカ人、オーストリア人、フランス人、韓国人、中国人、そして日本人の10人位で、徐々に他のクラスの人も休み時間などの会話で仲良くなってきました。

私が一番友達作りのために心掛けていたことは、基本的にイベント、ファイエスタ、飲み会などを断らず参加することでした。友達にその友達を紹介してもらったり、話し掛けられたり、話し掛けたりし、バル（朝から深夜まで営業する飲食店）の店員さん、ヒッピー、ミスマイアミなど交友関係はとても幅広くなりました。

私の名前「みお」は、スペイン語で「[mi]o」、意味は「私のもの」であり、自己紹介のたびに「[mi]o es [mi]o」（みおは私の？）というジョークが交わされ、すぐに覚えてもらえたのです。

語学学校ではレベルでクラスが6段階に分かれ、今期は3に入りましたが、留学の残り半年の来期はど

のレベルになるのでしょうか。経済学部の授業も受けなければならぬのですが、メキシコ人の友達ですら、難しすぎると嘆息するほどですから、私も嘆く日がやってくるのでしょうか。

勉強は勿論、自分の成長のために留学を決めたのですが、まだまだやり残していることが沢山あります。多くの時間があつたにも拘わらず、出国日に決めた目標を達成できていない自分に後悔しています。

留学に行かせてくれた親や、サポートして頂いた先生方、応援してくれた友達に自信を持って「ただいま！」と言えるように、残りの留学期間を余すことなく思いっきり過ごしたいと思っています。また6月に。Adios!

最近の主な留学先（短期研修含む）

国名	大学名	留学生数
アメリカ合衆国	ミシガン州立大学連合	11 (8)
オーストラリア	ディーキン大学	21 (19)
メキシコ	グアナファト大学	13 (11)
中国	東北財経大学	8 (7)
韓国	啓明大学	9 (9)
タイ	チェンマイ大学	0 (16)
	チェンマイ・ラジャバット大学	0 (0)

注1 留学生数欄は23年度実績、()は短期研修で内数。
注2 タイチェンマイ大学は、泰日工業大学との共同開催

就職活動と支援

「就職支援」と「就業力」

について思う

経済学部特任准教授 小野晶生

後援会のみなさまにおかれましては、平素より経済学部の就職支援業務に多大のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

小職は就業力育成協議会メンバーの一人でもありますので、普段の就職支援室の仕事を通じて感じている「就職支援」と「就業力」について述べさせていただきます。

4回生、3回生では「手遅れ」!? 一番感じていることは、就職支援室に相談に来る4回生、3回生にな



就職支援室

ってからでは、「手遅れ」感が強いということだと思えます。

早い段階、少なくとも1回生、2回生の間から「自分の一度限りの人生をどう生きたいのか」、その為には「どう働きたいのか」を考えられるような教育、機会をつくるべきだと思います。

小職のところの「就職」ということは、企業人であろうと公務員であろうと、「働く」ということの一選択肢に過ぎないわけです。しかし、4回生や3回生になって、いやもおも無く進路を決めなくてはならないとなつて、はじめて進路についていろいろと考える。そして単線思考で「就職」の選択をするということになるというケースがほとんどではないかと思われま

す。昨年10月に、3回生を対象に進路についての意向のヒアリングを実施し、約300人程の3回生が参加してくれましたが、多くの学生はどのような人生を生きたいか、どう働きたいかという明確なビジョンを持つていない。あるいは、ただ単にどの業界、どの企業への就職を志望するかという単線思考に終始していたように思えます。

しかも、就職活動の時期を迎えているいろと考え、自ら就職活動に入る学生はまだ良いのですが、考える余裕、暇(いとま)もなく周りの流れに押し流されて、就職活動にならなくなだれ込むというケースも



就職支援室内

散見されます。「金融しかない症候群」がその典型です。

この場合、なんとなく就職活動に入るから、志望動機もはっきりしない。従つて、採用する企業サイドも採る気がわからない。内定がなかなか出ない。ますますあせつて単なる内定狙いになる。従つてますます企業も採らないという典型的な「負のスパイラル」に落ち込んでゆくとこの流れになることが多くなります。そういう4回生を沢山見てきました。あらためて申しますが、学生たちには誰のものでもない、自分自身の人生。しかも一度きりの人生をどう生きるか、どう生きたいのかをまずきちんと考えて欲しいわけです。そして、その生き方をするために、

どう働きたいのか、どんな働き方ができるのかを考えて欲しいわけです。後援会のみなさまともよく話し合つていただきたいと思います。

私のところに相談に来る中で、「農業」がやってみたいとか、ソーシャルビジネスへの関心があるとか、NPO活動に参画したいとか、あるいは起業したいとか、ふるさとへ帰つて「町おこし、まちづくり」に貢献してみたいとか、手に職をつけて自営したいとかの相談が時々あつて、その時はその心意気に非常に嬉しくなつて、大いに話が盛り上がりま

す。「勤めない働きかた」もいろいろあるわけです。

このような想いあるいは夢が成就するかどうかは別にして、働くイコール就職という単線思考ではない考え方も早い時点で一度は検討して欲しいものです。

また、自分の人生で叶えてみたい想いや夢を企業人や公務員として実現するということも大いに結構なことだと思えます。早い段階で業界研究や企業研究を行つて、この企業や役所に行きたいと志望を固めていくこともとても大事なことだと思えます。

競争を超える「覚悟」と「才覚」を

今の学生は「ゆとり世代」といわれれています。小・中・高を通じて「競争を避ける教育」を施されてきたと思えます。また、贅沢さえ言わな

れば、大学全入時代でもあるわけですから、ここでも余り競争原理が働いているとは思えません。このことの善し悪しはあえて問いません。しかし、問題は、「就職」という局面で、いきなり「競争」の渦中に放り込まれるということでしょう。特に、企業は業種・業界・規模の大小を問わず、いやおうも無くグローバル競争の真っ只中にあります。企業に就職をするということは、この競争原理から逃げるということができないわけですね。この現実を受け入れざるを得ないわけですね。このことから、「競争」という現実に対処できる「覚悟」を持ち、対応してゆける「才覚」を磨いていくことが肝要かと思



合同企業説明会

います。

「複線思考」の考え方を

どうしても競争がいやだ。競争したくないというのであれば、「競争しない生き方」というのも有るかもしれませんが。

そのためにも「複線思考」の考え方が必要でしょう。

まとめとして、再度繰り返しますが、学生たちが他の誰のものでもない、自分自身の一度きりの人生をどう生きるか、どう生きたいか。そして、そのためにどう働きたいかを考えるための教育を。

そして、働くイコール就職という単線思考に陥らないための教育を。

そして、いやおうもないグローバル競争時代の「競争」という現実に対処する「覚悟」と「才覚」のための教育を。

これが、今求められている「就業力」だと私は考えます。

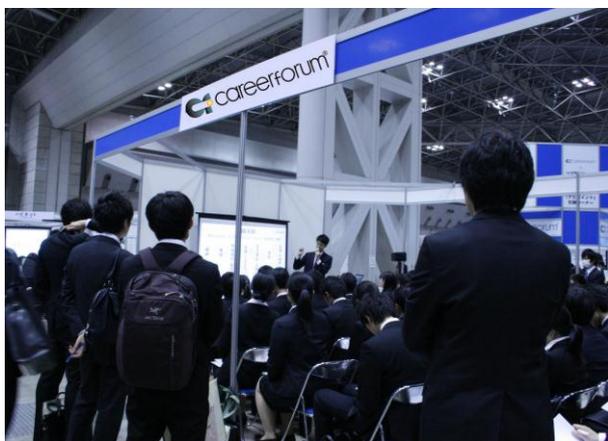
大学は決して「就職予備校」ではあって欲しくないのですが、就職という「出口」の評価によって、入学という「入口」の格付けが行われるといった風潮が強まっていると思われま

自分の頭で考え、行動できる人間に

蛇足ながら申し添えますと、滋賀大学経済学部に入學するということが、いい就職先に就職できるということとはイコールではないということです。本学部に入學することはいい就職先に就職するための必要

条件ではあるかもしれませんが、必ずしも十分条件であるとはいきりません。そうあるためには、学生のみなさんに目的意識を持って、充実した学生生活を送っていたかなければならないと思います。

大学教育の本身は、学生たちが学業、部活、アルバイト、ボランティア、その他もろもろの学生生活の中で、いろいろと経験することにより、自分自身の人生をどう生きるか、その人生の中でどう働くかを自分自身の頭で考え、自分自身で行動できるようにする手に助けることに尽きると思います。小・中・高時代は、常に「正解」が与えられる教育が続きました。大学では自分で「正解」を考え、導き出すことが求めら



企業の説明を聞く参加学生



OB（陵水会）による懇話会

れます。社会人になれば、よりそのことが求められます。しかも「正解」は一つではないケースが多々あります。自らの頭で考え、判断し、決断し、自ら行動することが社会からは求められるのです。後援会のみならず、この点については是非ご理解・ご尽力を賜りますれば幸甚です。「就職内定率」という物指しに捉われることなく、学生たち自身の「人生をどう生きるか」「どう働くか」ということを学生たち自身が、自分自身の問題として考えられる教育が入学してからの早い時点からなされるべきであると考えています。

「出口」はその先に自ずから見えてくるものでしょう。

就職状況

平成23年度就職状況

経済学部特任准教授 小野晶生

一、平成23年度就職状況の総括

ひとことで言うと、東日本大震災の影響で企業、学生ともに混乱。採用活動、就職活動ともにとらだら続く超長期化の年であったといえます。

昨年度は、一昨年10月に企業の採用広報が開始、早い企業では昨年2、3月に選考開始、内定出しというペースで就職戦線がスタートしましたが、3月11日に発生した東日本大震災の影響で、メガバンクや大手企業を中心に5月、6月への選考後ろ倒しという対応となりました。

ところが、既に走りだしていた西日本を中心とした企業とか中堅・中小の企業は、そのままのペースで選考採用を進めたため、早めの内定で就活をやめた学生とか内定辞退をして、メガバンクや大手企業の選考に走る学生とか複雑な動きとなりました。例年だと6月をピークに7月に入れば、就職戦線もほぼ終息するようですが、昨年は5月、6月の大手企業の選考後ろ倒しの影響で、内定出しの歩留まりが読みきれずに、7月以降も採用活動を続けざるを得ない企業が多くなりました。地域の金融機関などが、その典型でした。また、中堅・中小の企業もそのあたりを受けて、選考・採用が遅れ

がちになったことは否めませんでした。学生にとっては受験のチャンスが広がったというメリットと長期間モチベーションを維持し続けるという難しさの両面があったと考えられます。

二、平成23年度の本学部の特徴

①就職決定率はほぼ一昨年並み。平成23年度の就職決定率は90.9%となっており、一昨年度の91.3%とほぼ同様になりました。しかし、10人に1人が就職できないという厳しい状況は、昨年も改善されませんでした。

②新規の進路先が多くなった。「金融業」「製造業」「卸売業」「情報通信業」へ多くの学生が就職するという傾向は昨年も変わりはありませんでしたが、「卸売業」では66%、「製造業」では57%、「情報通信業」では45%が、ここ10年間就職者がいかなかった企業への就職となつています。ここでも、震災の影響を受けて、大手・有名企業に限らない、学生たちの企業選びの目が広がらざるを得なかったといえると思います。

③「金融業」を中心に異変。前述のように、震災の影響で、例年同時期に行われる地方銀行とメガバンクの選考時期がずれた関係で、地方銀行とメガバンクの選考を両方受けることができました。地方銀行の選考では他大学のメガバンクを本命とする学生と競合することになり、本学部学生は苦戦したものと推測されます。その結果、一昨

年度に比べて、滋賀銀行は6人減の9人、大垣共立銀行は3人減の7人、京都銀行は3人減の7人となりました。なお、本学部のメガバンク決定者は一昨年とほぼ同数でした。

三、本年（平成24年）度就職状況の展望

①採用選考は「短期集中型」昨年12月1日の採用広報開始、本年4月の採用選考開始で6月には選考が終了するという一昨年度まで以上の超短期集中型になるということです。

②「厳選採用」「質重視」

今期も企業雇用の増加・回復が見込まれています。しかし、企業はここ数年顕著になってきた「厳選採用」及び学生に「質」を求める姿勢がより一層鮮明になっていきます。その「質重視」とは、社会人基礎力の「主体性」「実行力」といった、前に踏み出す力とコミュニケーション能力が重視されます。即ち「積極性」と「協調性」が重視されるのです。別の言い方をすれば、「自律」できる人間、指示待ちではなく、自ら考え、自ら行動できる人間が求められています。

③「採用重点層へのアプローチ」に対応

本学部を「採用重点層」と評価していただける企業からのアプローチが多くなると予想されます。本年2月開催の「学内合同企業説明会」もその傾向でした。そして、学内での企業説明会開催希望企業には、できるだけ門戸開放をしていきます。

四、経済学部の就職活動支援

①本学部の就職活動支援の特徴は、先輩による就職支援が挙げられます。「陵水懇話会」…3回生を対象に秋に、先輩方より業界・企業の説明や就職活動のアドバイスを受けます。「学内合同企業説明会」…2月に卒業生が多く就職している企業・団体を中心に幅広い業界から約155の企業・団体に参加していただきます。「陵水会計人会懇話会」…卒業生で現役の税理士・公認会計士を迎えての懇話会などが他の大学にはない特徴です。「就職ガイド」…6月から就職活動の進め方や採用選考準備などにつき13回開催されます。業界・企業研究を目的に採用担当者を迎えての説明会や「公務員採用試験説明会」なども開催しています。

なお、就職情報社が開催する大阪・名古屋での「合同企業説明会」にも、学生の就職活動経費負担軽減のために、大学予算に加えて、経済学部後援会予算も頂戴して、彦根キャンパスからの学生送迎バスツアーを昨年は4回実施しました。

②校舎棟1階には、彦根キャンパスでの就職活動支援の拠点として「就職支援室」を設け、本学部に届いた求人票や学内外での会社説明会などの就職活動に関する情報提供のほか、小職による「就職相談」を年間を通じて実施しています。

会社名	計	男子	女子
102 中部電力㈱	1	1	
情報通信業			
103 アビームシステムズ㈱	1		1
104 医療システムズ㈱	1		1
105 ㈱NSD	1	1	
106 ㈱NTTデータ関西	1	1	
107 ㈱エヌ・ティ・ティ マーケティング アクト	1	1	
108 関電システムソリューションズ㈱	1		1
109 クオリカ㈱	1	1	
110 コベルコシステム㈱	1	1	
111 ㈱ジェネス	1		1
112 ㈱システナ	1	1	
113 スミセイ情報システム㈱	1	1	
114 ソフトバンクグループ通信3社	1	1	
115 中央コンピューター㈱	1		1
116 中部日本電気ソフトウェア㈱	1	1	
117 中部日本放送㈱	1	1	
118 T I S ㈱	1	1	
119 ㈱TKC	1	1	
120 データプロセス㈱	1	1	
121 ㈱トヨタコミュニケーションシステム	1		1
122 西日本電信電話㈱	3	2	1
123 ㈱ニッセイコム	1		1
124 日本コンピューター・システム㈱	1		1
125 ㈱幕末	1	1	
126 パナソニック電工ネットワークス㈱	1	1	
127 ㈱光通信	1	1	
128 富士ゼロックスシステムサービス㈱	1	1	
129 ㈱富士通関西システムズ	1	1	
130 富士通関西中部ネットテック㈱	1	1	
131 ㈱富士通マーケティング	1		1
132 ㈱マイナビ	1	1	
133 読売新聞大阪本社	1	1	
134 ㈱リンクレア			1
135 ㈱ワンビシアーカイブズ	1	1	
運輸業・郵便業			
136 ㈱住友倉庫	1	1	
137 ダイセイエプリー二十四㈱	1		1
138 ダイセイ倉庫運輸㈱	1	1	
139 ㈱高島デリバリー	1		1
140 東海旅客鉄道㈱	1	1	1
141 名古屋鉄道㈱	1	1	
142 西日本旅客鉄道㈱	1	1	
143 福山通運㈱	1	1	
144 郵船ロジスティクス㈱	1	1	
卸売業			
145 石黒メディカルシステム㈱	1		1
146 岩谷産業㈱	1	1	
147 N N P ㈱	1		1
148 ㈱エフティコミュニケーションズ	1	1	1
149 ㈱大西	1	1	
150 ㈱オガノ	1	1	
151 ㈱神谷商会	1	1	
152 キムラ㈱	1	1	
153 ㈱京セラソーラーコーポレーション	1	1	
154 ㈱サンゲツ	2	2	
155 サンコーインダストリー㈱	1	1	
156 シークス㈱	1	1	
157 ジェイアール西日本商事(株)	1	1	
158 ㈱JOMOネット	1	1	
159 新江州㈱	2	1	1
160 鈴与商事㈱	1	1	
161 ㈱シブタニ	1	1	
162 大中物産㈱	1	1	
163 谷村実業㈱	1	1	
164 ㈱デミック	1	1	
165 轟産業㈱	1	1	
166 ㈱トリニティアーツ	1	1	
167 ㈱ナ・デックス	1	1	
168 ㈱日本アクセス	1	1	
169 日本ハム東販売㈱	1	1	
170 パナソニックトレーディングサービスジャパン㈱	1	1	
171 林㈱	1	1	
172 富士貿易㈱	2	2	
173 ㈱プロルート丸光	1	1	
174 豊国商事㈱	1	1	
175 北勢工業㈱	1	1	

会社名	計	男子	女子
32 富士製薬工業㈱	1	1	
33 ㈱ブリヂストン	1	1	
34 ㈱ボーラ	1		1
35 丸菱油化工業㈱	1	1	
製造業(鉄鋼業・非鉄金属・金属製品)			
36 ㈱IHIインフラシステム	1	1	
37 オテック㈱	1	1	
38 ㈱オンダ製作所	1	1	
39 サンコール㈱	1	1	
40 シオガイアジアトレーディング㈱	1		1
41 スガツネ工業㈱	1	1	
42 住友電気工業㈱	2	1	1
43 ㈱丸二スチール製作所	1	1	
44 リンナイ㈱	1	1	
製造業(はん用・生産用・業務用機械器具)			
45 アークレイ㈱	2	1	1
46 N T N ㈱	1	1	
47 ㈱甲山製作所	1	1	
48 ㈱クボタ	2	2	
49 ㈱KCM	1	1	
50 ㈱島津製作所	1		1
51 ㈱ジョーニシ	1	1	
52 ㈱神鋼環境ソリューション	1	1	
53 シンワ精機㈱	1	1	
54 住友重機械工業㈱	1	1	
55 大成機工㈱	1	1	
56 大和冷機工業㈱	1	1	
57 ㈱テックササキ	1	1	
58 ㈱デンソーウェーブ	1	1	
59 東芝メディカルシステムズ㈱	1	1	
60 ㈱ニッセイ	1	1	
61 日立ツール㈱	1	1	
62 ㈱不二越	1	1	
63 豊和工業㈱	1	1	
64 ㈱マキタ	1	1	
65 村田機械㈱	1	1	
66 ㈱メニコン	1	1	
67 ワンフォオール㈱	1	1	
製造業(電子部品・デバイス・電子回路)			
68 ㈱キーエンス	1	1	
69 ニチコン㈱	1	1	
製造業(電気・情報通信機械器具)			
70 ㈱エナジーサポート	1	1	
71 エレコム㈱	2	1	1
72 オプテックス・エフイー㈱	1	1	
73 オムロン㈱	1	1	
74 ㈱ダイヘン	1	1	
75 ㈱ディジ・テック	1	1	
76 日新電機㈱	1	1	
77 ㈱日立製作所	1	1	
78 松定プレジジョン㈱	1		1
79 ㈱三菱電機	1	1	
製造業(輸送用機械器具)			
80 アイシン精機㈱	2	2	
81 ㈱アドヴィックス	1	1	
82 河西工業㈱	1		1
83 川崎重工業㈱	1	1	
84 シロキ工業㈱	1	1	
85 ㈱月星製作所	1	1	
86 ㈱東海理化	2	1	1
87 豊田合成㈱	3	1	2
88 トヨタ紡織㈱	1	1	
89 ㈱ハイレックスコーポレーション	1	1	
90 フタバ産業㈱	1	1	
91 本田技研工業㈱	1	1	
製造業(その他の製造)			
92 エンゼルプレイングカード製造㈱	2	2	
93 ㈱コクヨ工業滋賀	1	1	
94 タカラスタンダード㈱	1	1	
95 ㈱TKX	1	1	
96 東洋炭素㈱	1	1	
97 ニチアス㈱	1	1	
98 ㈱ニッタン	1	1	
99 ㈱フジシール	1	1	
100 豊ファインパック㈱	1		1
101 ㈱ユボ・コーポレーション	1	1	
電気・ガス・熱供給・水道業			

平成23年度就職状況			
○進路別内訳	計	男	女
卒業者	563	359	204
進学者	35	23	12
大学院	21	13	8
大学学部	4	1	3
専修学校等	10	9	1
就職者	465	290	175
教員	1	1	0
会社等	425	261	164
公務員	39	28	11
その他	63	46	17

進学先・就職者一覧				
○進学先内訳	進学先	計	男子	女子
大学院研究科				
1	滋賀大学大学院	11	7	4
2	関西学院大学大学院	1	1	
3	京都大学大学院	2	2	
4	神戸大学大学院	2	1	1
5	大阪大学大学院	1		1
6	同志社大学大学院	2	1	1
7	北陸先端科学技術大学院	1	1	
8	早稲田大学大学院	1		1
専修学校等				
1	大原学園	4	3	1
2	TAC	2	2	
3	中和医療専門学校	2	2	
4	ヒューマンアカデミー	1	1	
5	LEC東京リーガルマインド	1	1	
学部編・入学				
1	滋賀大学特別支援教育専攻科	1		1
2	創価大学通信教育部	1	1	
3	佛教大学通信教育課程	2		2

○就職先内訳(産業別・業種別)			
会社名	計	男子	女子
建設業			
1	I. C. P. 京都㈱	1	1
2	旭化成ホームズ㈱	1	1
3	㈱一条工務店	3	3
4	㈱奥村組	1	1
5	㈱かんでんエンジニアリング	1	1
6	㈱木下工務店	1	1
7	㈱新和建設	1	1
8	積水ハウス㈱	1	1
9	ホーセック㈱	1	1
製造業(食料品・飲料・たばこ・飼料)			
10	㈱伊藤園	1	1
11	日世㈱	2	2
12	日本製粉㈱	1	1
13	㈱フレッシュル	1	1
14	森永乳業㈱	1	1
15	(有)山口豆腐	1	1
16	㈱ロッテ	1	1
製造業(繊維工業)			
17	江一㈱	1	1
18	帝人㈱	1	1
19	東洋紡績㈱	1	1
20	丸久㈱	1	1
製造業(印刷・同関連業)			
21	(独)国立印刷局	1	1
22	㈱コトビ企画	1	1
23	サンメッセ㈱	1	1
製造業(化学工業・石油製品・医薬品等)			
24	作新工業㈱	1	1
25	新光化成㈱	1	1
26	大日本住友製薬㈱	1	1
27	太平化学産業㈱	1	1
28	D I C ㈱	1	1
29	東拓工業㈱	1	1
30	日華化学㈱	1	1
31	ピアス㈱	1	1

会社名				計	男子	女子	会社名				計	男子	女子	会社名				計	男子	女子		
318	京都府公立中学校	1	1				250	但陽信用金庫	1	1				176	松村石油業	1	1					
319	㈱クレオテック	1		1			251	中日信用金庫	1		1			177	丸善薬品産業㈱	1	1					
その他教育							252	敦賀信用金庫	1	1				178	㈱八神製作所	1	1					
320	エルフレーム㈱	1		1			253	東濃信用金庫	1	1				179	ヤンマー農機販売㈱	1		1				
321	㈱教育企画	1	1				254	鳥取信用金庫	1	1				180	ユーシーシーフーズ㈱	1	1					
322	㈱さなる	1	1	1			255	長野信用金庫	1	1				小売業								
323	東海出版㈱	1	1	1			256	中兵庫信用金庫	1		1			181	㈱アルベン	1		1				
324	㈱日本公文教育研究会	1		1			257	西尾信用金庫	2	2				182	石川トヨタ自動車㈱	1	1					
325	㈱野田塾	1		1			258	西兵庫信用金庫	1		1			183	石黒自動車工業㈱	1	1					
326	㈱HOMESエデュケーション	1		1			259	三重信用金庫	1	1				184	勝木書店	1	1					
327	㈱ワオ・コーポレーション	1		1			260	水島信用金庫	1		1			185	㈱ギガス	1		1				
医療・保健							金融業（証券）							186	キャノンシステムアンドサポート㈱	1		1				
328	(独)国立病院機構	1	1				261	今村証券㈱	1	1				187	くまざわ書店	1		1				
329	(医)瑞鳳会	1		1			262	エース証券㈱	1		1			188	㈱古城モータース	1		1				
330	(医)昴会	1	1	1			263	SMB C日興証券㈱	1	1	1			189	㈱コスモス薬品	1		1				
331	(株)トーカイ	2		2			264	K O Y O証券㈱	1	1				190	㈱コム兵	1	1					
332	(医)母と子の上田病院	1		1			265	野村證券㈱	1		1			191	㈱コメリ	1	1					
333	(株)ファルコビジネスサポート	1		1			266	三菱UFJ投信㈱	1	1				192	㈱さとう	1	1					
334	(医)緑和会	1		1			金融業（その他）					193	滋賀テレコム㈱	1		1						
社会保険・福祉							267	イオンクレジットサービス㈱	1	1				194	滋賀トヨタ自動車㈱	1	1					
335	(団)青い鳥会彦根学園	1		1			268	SMB C融資事務サービス㈱	1		1			195	上新電機㈱	1		1				
336	(幼)宇治明星園	1	1				269	京都信用保証協会	1		1			196	㈱たちばな	1		1				
337	財団法人年金事業振興団	1		1			270	三菱UFJリース㈱	1	1				197	ネットトヨタびわこ㈱	1	1					
338	社会保険診療報酬支払基金	1		1			保険業					198	白鳳㈱	1	1							
339	日本年金機構	1	1				271	オリックス生命保険㈱	1	1				199	㈱パリラ	1	1					
340	パナソニック健康保険組合	1		1			272	㈱かんぽ生命保険	2	2				200	㈱ベイシア	1	1					
341	㈱ベネッセスタイルケア	1		1			273	銀泉㈱	1	1				201	㈱平和堂	3	2	1				
複合サービス事業							274	ジブラルタ生命保険㈱	1	1	1			202	㈱マルアイ	1		1				
342	雲南農業協同組合	1	1	1			275	住友生命保険相互会社	2	1	1			203	㈱メガネトップ	1		1				
343	全国農業協同組合連合会	1	1				276	東京海上日動火災保険㈱	1		1			204	安井家具㈱	1	1					
344	西宇和農業協同組合	1		1			277	日本興亜損害保険㈱	1		1			205	㈱ヤマカワ	1		1				
345	郵便局㈱	1		1			278	日本生命保険相互会社	2	1	1			金融業（銀行）								
サービス業(他に分類されないもの)							279	富国生命保険相互会社	1	1	1			206	㈱愛知銀行	4	3	1				
346	㈱エスアールエス	1	1				280	㈱保険デザイン	2	1	1			207	㈱大垣共立銀行	7	6	1				
347	シエル商事㈱	1	1				281	明治安田生命保険相互会社	1		1			208	㈱鹿児島銀行	1	1					
348	タイガー総業㈱	1		1			不動産取引・賃貸・管理業					209	㈱関西アーバン銀行	3		3						
349	(財)名古屋産業振興公社	1	1	1			282	アットホーム㈱	1	1	1			210	㈱京都銀行	7	1	6				
350	名古屋商工会議所	1	1				283	㈱エイブル	1		1			211	㈱高知銀行	1	1					
351	三菱電機ビルテクノサービス㈱	2	2				284	㈱エリッツ	1	1				212	㈱滋賀銀行	9	5	4				
公務（国家事務）							285	住友不動産販売㈱	1	1				213	㈱十六銀行	5	3	2				
352	大阪国税局	1	1				286	積和不動産関西㈱	1	1	1			214	㈱新生銀行	1	1					
353	関東信越国税局	2	1	1			287	大東建託㈱	1	1				215	㈱第三銀行	1	1					
354	名古屋国税局	3	2	1			288	トヨタすまいるライフ㈱	1		1			216	㈱但馬銀行	1	1					
355	農林水産省	1	1				289	㈱ミニミニ	1		1			217	㈱中京銀行	1	1					
356	北陸財務局	1	1				物品賃貸業					218	㈱中国銀行	1	1							
公務（地方事務）							290	キリックスグループ	2	1	1			219	㈱名古屋銀行	3	1	2				
357	愛知県庁	1	1				291	トヨタレンタリース三重	1		1			220	㈱百五銀行	1		1				
358	愛知県警察	1	1				その他の専門・技術サービス業					221	㈱福邦銀行	1	1							
359	一宮市役所	1	1				292	㈱アサツー ディ・ケイ	1	1				222	㈱北洋銀行	1		1				
360	いなべ市役所	1	1	1			293	㈱エフアンドエム	1	1				223	㈱北國銀行	1	1					
361	大阪府庁	1		1			294	㈱学情	1		1			224	㈱三重銀行	1	1					
362	大津市役所	1	1				295	川口通正建築研究所	1		1			225	みずほフィナンシャルグループ	3	3					
363	大野町役場	1		1			296	佐藤順税理士事務所	1	1				226	㈱三井住友銀行	2	1	1				
364	門真市役所	1	1				297	㈱新東通信	1	1				227	三井住友トラストグループ	1		1				
365	刈谷市役所	1	1				298	ディップ㈱	1	1				228	㈱三菱東京UFJ銀行	6	2	4				
366	岐阜県庁	1	1				299	㈱電通	1		1			229	三菱UFJ信託銀行㈱	1		1				
367	岐阜市役所	1	1				300	利川照二税理士事務所	1	1				230	㈱みなと銀行	1	1					
368	甲賀市役所	1	1				301	トランスコスモス㈱	1		1			231	㈱宮崎銀行	1	1					
369	滋賀県教育委員会	1	1				302	㈱フードリンク	1	1				232	㈱山形銀行	1	1					
370	東海市役所	1	1				宿泊業・飲食サービス業					233	りそなグループ	4	2	2						
371	鳥取県警察本部	1		1			303	㈱木曾路	1	1				金融業（協同組織金融）								
372	富山県庁	1	1				304	㈱ゼンショーホールディングス	1	1				234	愛知県信用農業協同組合連合会	1	1					
373	豊橋市役所	1	1	1			305	びわ湖紅葉㈱	1		1			235	尾崎信用金庫	2	2					
374	長浜市役所	1		1			306	㈱ファイブスター	1	1				236	越前信用金庫	1	1					
375	名古屋市役所	2	1	1			307	リゾートトラスト㈱	1		1			237	愛媛信用金庫	1	1					
376	南越消防組合	1	1				生活関連サービス業・娯楽業					238	大阪市信用金庫	1	1							
377	東近江市役所	1	1				308	㈱イチバンコーポレーション	1	1				239	大阪信用金庫	1		1				
378	彦根市役所	2	1	1			309	㈱A・S company	1		1			240	大阪東信用金庫	1	1					
379	福井県警察	1	1				310	㈱エボックススポーツクラブ	1		1			241	岡崎信用金庫	1	1					
380	福井県庁	1		1			311	クラブツーリズム㈱	1	1				242	岐阜県信用農業協同組合連合会	1	1					
381	福山市役所	1	1				312	㈱ぐるなび	1		1			243	京都中央信用金庫	3	1	2				
382	南伊勢町役場	1	1				313	㈱ナゴヤドーム	1	1	1			244	近畿産業信用組合	1	1					
383	向日市役所	1	1				314	㈱阪急阪神ビジネスホテル	1	1				245	桑名信用金庫	2	2					
384	八幡市役所	1	1				315	㈱プラス	1		1			246	神戸信用金庫	1		1				
385	竜王町役場	1	1				316	㈱リビナス	1		1			247	湖東信用金庫	1	1					
学校教育							学校教育							248	滋賀中央信用金庫	1	1					
317	(学)大阪学院大学	1	1				317	(学)大阪学院大学	1	1				249	商工組合中央金庫	1	1					

後援会総会

4月6日(金)入学式後に開催されました経済学部後援会総会には、多数の皆様のご出席をいただきありがとうございました。

総会は、岩田後援会会長、梅澤経済学部長の挨拶、平成23年度決算及び24年度予算案の審議、新委員の選出があり、続いて、学務関係事項及び学生関係事項の説明、就職状況について報告がありました。総会で承認されました平成23年度決算及び24年度予算について、出席いただけなかった会員の皆様に、ここに決算書と予算書を掲載させていただきます。

平成23年度 経済学部後援会収支報告

後援会総会

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	1,435,598	
会費(学部新入生)	8,715,000	581人×@15,000
会費(編入生)	165,000	22人×@7,500
会費(大学院新入生)	127,500	17人×@7,500
利息	1,136	
収入合計	10,444,234	



支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	過不足額	備考
①厚生体育費補助	3,900,000	3,732,864	167,136	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動補助	1,800,000	1,920,625	-120,625	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	130,000	40,000	90,000	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④学務関係補助	1,930,000	1,586,462	343,538	TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	250,000	250,000	0	合同企業説明会等参加経費、OB懇談会経費
⑥団体分担金	140,000	32,000	108,000	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	500,000	500,000	0	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	400,000	150,380	249,620	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	350,000	330,900	19,100	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	550,000	745,366	-195,366	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	28,000	23,664	4,336	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	50,000	50,000	0	留学生後援会援助金
計	10,028,000	9,362,261	665,739	
⑬予備費	416,234	450,000	-33,766	就職補助費
支出合計	10,444,234	9,812,261	631,973	

平成23年度 図書充実費収支報告

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	384,178	
会費(学部新入生)	581,000	581人×@1,000
会費(編入生)	11,000	22人×@500
会費(大学院新入生)	8,500	17人×@500
利息	127	
収入合計	984,805	

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
図書購入費等	406,171	
次年度繰越額	578,634	
支出合計	984,805	

平成23年度 体育充実費収支報告

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	352,415	
会費(学部新入生)	581,000	581人×@1,000
会費(編入生)	11,000	22人×@500
会費(大学院新入生)	8,500	17人×@500
利息	105	
収入合計	953,020	

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
近国体分担金	200,000	
体育実習補助	144,000	
体育用品購入費	151,436	
次年度繰越額	457,584	
支出合計	953,020	

平成24年度 経済学部後援会予算

収入

(単位:円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	631,973	
会費(学部新入生)	8,715,000	581人×@15,000
会費(編入生)	165,000	22人×@7,500
会費(大学院新入生)	127,500	17人×@7,500
利息	1,000	
収入合計	9,640,473	

後援会だより編集委員会



支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
①厚生体育費補助	3,120,000	近国体運営費・大会出場者交通費・課外活動等補助
②文化活動補助	1,440,000	開学祭・滋大祭・課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	学生懸賞論文副賞・優秀卒業論文副賞
④学務関係補助	1,374,000	学務関係諸経費補助、TOEIC-IP受験補助、成績送付経費
⑤就職補助費	800,000	合同企業説明会等参加補助
⑥団体分担金	140,000	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	450,000	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	300,000	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	350,000	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	550,000	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	28,000	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	50,000	留学生後援会援助金
⑬経済学部創立90周年事業援助費積立	200,000	
計	8,872,000	
⑭予備費	768,473	
支出合計	9,640,473	

平成24年度 図書充実費予算

収入

(単位:円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	578,634	
会費(学部新入生)	581,000	581人×@1,000
会費(編入生)	11,000	22人×@500
会費(大学院新入生)	8,500	17人×@500
利息	140	
収入合計	1,179,274	

支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
図書購入費等	700,000	
繰越予定額	479,274	
支出合計	1,179,274	

平成24年度 体育充実費予算

収入

(単位:円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	457,584	
会費(学部新入生)	581,000	581人×@1,000
会費(編入生)	11,000	22人×@500
会費(大学院新入生)	8,500	17人×@500
利息	110	
収入合計	1,058,194	

支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
近国体分担金	200,000	
体育実習補助	200,000	
体育用品購入費	200,000	
繰越予定額	458,194	
支出合計	1,058,194	

平成24年度 後援会役員名簿

会長	岩田 守弘	監事	山口 健作	委員	藤井 純子
副会長	三橋 勝三	監事	土坂 等	委員	北川 保
副会長	草川 喬夫	委員	木村 譲	委員	田口 誠一
幹事	深尾 一郎	委員	福田 直規	委員	辰村 ひろ子
幹事	戸田 茂	委員	清水 増男	委員	伊勢村 文二
幹事	山口 真弘	委員	南 繁安	委員	中村 はるひ
幹事	河合 宏治	委員	大森 敦子	委員	福岡 うた子
幹事	富田 圭一	委員	二宮 正子		

編集後記

会員の皆様の記事についての感想や要望、後援会や経済学部に対する要望、ご意見等を郵送又はFAX(下記に記載)でお聞かせください。

〒522-8522

彦根市馬場1丁目1-1

滋賀大学経済学部

FAX: 0749-27-1132

電話: 0749-27-1030